

社福第南苑～号
令和2年5月20日

保護者各位

社会福祉法人 南幌苑
障がい者支援施設 南幌めぐみ学園
理事長 栗 林 和 史
(公印略)

第33回南幌めぐみ学園スポーツ大会の中止について

日頃より当学園の運営に際しましてご協力をいただき、また新型コロナウイルス感染防止の取り組みにご理解をいただいておりますことに厚く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスのまん延防止の対策が各所で行われており、当施設からも面会、外出・外泊の自粛について文書でお願いし、職員一丸となり感染防止の対応を継続しているところであります。ご家族の皆様におかれましても感染拡大の不安と危機感を感じながら、日常生活を送られていることと思います。利用者の皆さんにおかれましては、体調を崩される方もなく、元気に過ごされております。感染防止対策を継続しながら、日々の生活に大きな変化のないよう支援をさせていただいておりますが、外出等の自粛によるストレスを感じている方がいらっしゃいましたので、この連休中には、施設の中で出来ることを少しでも楽しんでいただけるよう、施設内での催事やイベントを開催し、6月には屋外でお花見を兼ねてジンギスカンパーティを行い、利用者に楽しんでいただく予定です。

道内においても減少傾向が見られますが、オホーツク管内の障がい者支援施設で集団感染事例が発生し、不安を抱える中で感染防止に努められています。まだ医療施設、福祉施設の感染拡大もあり、当施設

にも高齢の方、合併症の方が多数入所していますので、当施設としては、これらの状況を踏まえて、引き続き厚生労働省のガイドラインに基づく感染症予防の厳戒態勢を継続する事といたします。可能な限り外部との接触を無くし、職員に関しては、健康チェックを強化していきます。

つきましては、7月12日(日)に予定しておりました「第33回南幌めぐみ学園スポーツ大会」に際しましては、今年度は取り止める運びとなりました。開催を楽しみにして下さった皆様には、急なご案内となりご迷惑をおかけしますが、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。尚、7月に利用者と職員で「かよえ〜る」前庭においてレクリエーションを計画しております。

基本的な対応は「三つの密」が重ならないようにするということをベースに各作業所には実情に合わせながらの支援をお願いしております。介護、及び支援の現場は、三つの密なしでは成り立たない場面が多くあります。多かれ少なかれ社会と隔絶された暮らしはあり得ません。見えない敵にストレスを感じる非常に厳しい毎日が続いています。

今後においても当面の間、外出・外泊等は原則中止となりますが、一番心が痛むのは、入所施設でのご家族への面会、帰省の制限です。ご家族に会うことを心待ちにされている利用者の方には本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

面会については、6月より会議室等を使用して面会ができる場を設定いたします。事前に連絡を頂き、来園の際に玄関において、風邪症状の有無の確認、体温チェック、マスク着用にご協力をいただきます。

尚、連休中に学園前庭の桜も満開になり、大変楽しんでいただき、笑顔も多く見られましたので、写真を同封いたします。

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をおねがいします

3つの「密」を避け ましょう!

①換気の悪い
密閉空間



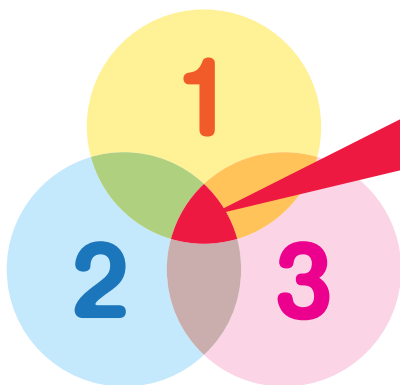
②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には
消毒などを行ってください。

